



2025年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2025年1月31日

上場会社名 株式会社 タクミナ

上場取引所 東

コード番号 6322 URL <https://www.tacmina.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 山田 圭祐

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長

(氏名) 植田 和寛

TEL 06-6208-3971

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日～2024年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	7,956	0.0	1,228	13.5	1,255	13.3	878	12.8
2024年3月期第3四半期	7,957	18.6	1,081	16.0	1,107	17.5	778	23.3

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 874百万円 (3.4%) 2024年3月期第3四半期 905百万円 (28.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	121.33	
2024年3月期第3四半期	107.64	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	14,418	9,943	69.0
2024年3月期	14,907	10,023	67.2

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 9,943百万円 2024年3月期 10,023百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2024年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期		25.00		25.00	50.00
2025年3月期(予想)		25.00		25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,500	4.4	1,600	1.1	1,615	0.2	1,200	0.4	165.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期3Q	7,728,540 株	2024年3月期	7,728,540 株
期末自己株式数	2025年3月期3Q	838,474 株	2024年3月期	487,389 株
期中平均株式数(四半期累計)	2025年3月期3Q	7,237,694 株	2024年3月期3Q	7,234,561 株

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項につきましては、添付資料の3ページ「1. 経営成績等の概況(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	8
(会計方針の変更に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
3. その他	9

1. 経営成績等の概況

（1）当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境等が改善するとともに個人消費やインバウンド需要も回復するなど、景気は緩やかな回復基調となりました。一方で、原材料価格やエネルギー価格の高騰による物価上昇が継続しているほか、中国経済の減速リスクが懸念されるなど、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループにおいては、国内では、ケミカル業界の設備投資意欲が引き続き旺盛であることに加えて、水処理関連の引き合いも強く、好調に推移しました。一方、海外向けでは、二次電池業界の設備投資計画に足跡が見られ、低調な結果となりました。

主な品目別販売実績は、以下のとおりです。

高性能ソリューションポンプは、国内市場では、当社主力製品の「スムーズフローポンプ」の主要市場となるケミカル業界において、二次電池関連や素材関連を中心に堅調な設備投資需要が継続しており、同製品群の販売は引き続き好調に推移しました。スムーズフローテクノロジーを駆使したソリューションの採用は、環境への負荷低減や自動化・効率化につながるシステム化のニーズ拡大に加えて、研究・開発分野における新用途に向けても広がりつつあり、順調に売上を伸ばしております。また、2024年10月には、「高機能素材Week 2024」に4年連続で出展し、塗料やフィルム、接着剤等の製造工程のほか、素材・電池・MLCC市場に向けて「スムーズフローポンプ」を中心とした流体ソリューションやスムーズフローテクノロジーを紹介し、高付加価値付与、TCO（Total Cost of Ownership）削減への貢献を訴求しました。

海外市場では、韓国企業における二次電池関連に向けた「スムーズフローポンプ」の納入は継続しているものの、投資計画に停滞が見られ、前年同期と比較し低調に推移しました。一方、中国においては、ケミカル市場向けで「スムーズフローポンプ」の売上が増加し、業績に貢献しました。

汎用型薬液注入ポンプは、国内を中心とした堅調な設備投資を背景に、水処理関連で需要が増加しており、特に滅菌・殺菌業界の活発な動きが続いている中で、好調を維持しました。

ケミカル移送ポンプは、「ムンシュポンプ（高耐食ポンプ）」が、進行中の製鉄プラント向け案件で受注を継続していますが、前年同期に大型物件を複数受注していた反動により、売上が減少しました。

計測機器・装置は、滅菌・殺菌業界向けに案件数が底上げされ、中でも「計測機器」及び「流体制御装置」の受注が増えたことにより、売上が増加しました。

ケミカルタンクは、水処理関連で大型タンクやソリューションタンクなどの導入が順調に進み、売上が増加しました。

以上の結果、売上高は79億56百万円（前年同期比0.0%減）と横ばいとなりました。利益面につきましては、売上構成の変化に伴い限界利益率が上昇したことから、売上総利益は37億98百万円（同7.2%増）と増加しました。また、販売費及び一般管理費は、賃上げの実施や企業活動の活発化等により増加しましたが、売上総利益の増加により吸収することができたため、営業利益は12億28百万円（同13.5%増）、経常利益は12億55百万円（同13.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は8億78百万円（同12.8%増）とそれぞれ増益となりました。

（2）当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて4億89百万円減少し、144億18百万円となりました。

流動資産は8億94百万円減少し、94億15百万円となりました。主な増減内訳は、現金及び預金の減少10億96百万円、売上債権の増加7百万円、有価証券の減少99百万円、棚卸資産の増加2億51百万円であります。

固定資産は4億4百万円増加し、50億2百万円となりました。主な増減内訳は、有形固定資産の増加5百万円、無形固定資産の減少25百万円、投資その他の資産の増加4億24百万円であります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べて4億9百万円減少し、44億74百万円となりました。

流動負債は93百万円減少し、36億22百万円となりました。主な増減内訳は、仕入債務の減少1億43百万円、短期借入金の増加12百万円、1年内返済予定の長期借入金の増加3億50百万円、未払法人税等の減少67百万円、賞与引当金の減少1億88百万円であります。

固定負債は3億16百万円減少し、8億51百万円となりました。主な増減内訳は、長期借入金の減少3億50百万円、退職給付に係る負債の増加37百万円であります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べて79百万円減少し、99億43百万円となりました。主な増減内訳は、親会社株主に帰属する四半期純利益8億78百万円から配当金3億62百万円の支払いを差し引いた利益剰余金の増加5億15百万円、自己株式の増加6億7百万円、為替換算調整勘定の減少10百万円であります。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の67.2%から69.0%へと1.8ポイント上昇いたしました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年5月8日の「2024年3月期 決算短信」で公表いたしました、通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,983,514	2,886,705
受取手形及び売掛金	2,832,501	2,656,651
電子記録債権	1,625,516	1,808,946
有価証券	99,994	—
商品及び製品	265,835	338,043
仕掛品	2,806	2,261
原材料及び貯蔵品	1,465,705	1,645,868
その他	37,774	80,971
貸倒引当金	△3,489	△3,546
流動資産合計	10,310,159	9,415,903
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,381,345	1,348,813
その他（純額）	982,608	1,020,807
有形固定資産合計	2,363,953	2,369,621
無形固定資産		
無形固定資産	198,760	173,158
投資その他の資産		
投資有価証券	1,459,327	1,887,623
その他	576,531	573,146
貸倒引当金	△1,119	△1,119
投資その他の資産合計	2,034,738	2,459,650
固定資産合計	4,597,453	5,002,430
資産合計	14,907,613	14,418,333

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	732,967	708,189
電子記録債務	1,405,163	1,286,001
短期借入金	38,000	50,000
1年内返済予定の長期借入金	—	350,000
未払法人税等	263,486	196,267
賞与引当金	338,000	149,520
その他	938,193	882,602
流動負債合計	3,715,810	3,622,580
固定負債		
長期借入金	350,000	—
退職給付に係る負債	654,665	691,891
その他	163,950	160,089
固定負債合計	1,168,616	851,981
負債合計	4,884,426	4,474,562
純資産の部		
株主資本		
資本金	892,998	892,998
資本剰余金	773,736	790,226
利益剰余金	8,060,415	8,576,011
自己株式	△289,433	△897,303
株主資本合計	9,437,717	9,361,933
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	452,718	459,071
繰延ヘッジ損益	—	△893
土地再評価差額金	30,438	30,438
為替換算調整勘定	85,794	75,056
退職給付に係る調整累計額	16,516	18,164
その他の包括利益累計額合計	585,468	581,838
純資産合計	10,023,186	9,943,771
負債純資産合計	14,907,613	14,418,333

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	7,957,227	7,956,784
売上原価	4,412,012	4,157,936
売上総利益	3,545,215	3,798,847
販売費及び一般管理費	2,463,427	2,570,567
営業利益	1,081,788	1,228,279
営業外収益		
受取利息	17,202	25,131
受取配当金	20,816	22,153
持分法による投資利益	1,631	2,786
為替差益	—	1,895
その他	9,862	7,415
営業外収益合計	49,512	59,381
営業外費用		
支払利息	1,566	1,601
為替差損	5,316	—
寄付金	10,000	—
支払手数料	—	29,985
その他	6,574	1,062
営業外費用合計	23,457	32,649
経常利益	1,107,842	1,255,011
特別利益		
投資有価証券償還益	—	10,158
特別利益合計	—	10,158
税金等調整前四半期純利益	1,107,842	1,265,169
法人税等	329,078	387,021
四半期純利益	778,764	878,148
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	778,764	878,148

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	778,764	878,148
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	109,980	6,353
繰延ヘッジ損益	△1,062	△893
為替換算調整勘定	27,325	△10,737
退職給付に係る調整額	△9,653	1,648
その他の包括利益合計	126,589	△3,629
四半期包括利益	905,353	874,518
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	905,353	874,518
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」（企業会計基準第27号 2022年10月28日。）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(自己株式の取得)

当社は、2024年11月1日開催の取締役会決議に基づき、自己株式361,880株の取得を行いました。

この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が614,110千円増加しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	183,640千円	200,429千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社グループは、ポンプ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

3. その他

(1) 売上高

(単位：百万円)

品 目	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)		増 減	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	増減率
高性能ソリューションポンプ	3,155	39.7	3,110	39.1	△45	△1.4
汎用型薬液注入ポンプ	2,109	26.5	2,183	27.4	73	3.5
ケミカル移送ポンプ	580	7.3	508	6.4	△72	△12.5
計測機器・装置	949	11.9	992	12.5	42	4.5
流体機器	299	3.8	300	3.8	0	0.3
ケミカルタンク	522	6.5	532	6.7	10	1.9
その他	339	4.3	330	4.1	△9	△2.8
合 計 (うち海外)	7,957 (1,708)	100.0 (21.5)	7,956 (1,284)	100.0 (16.1)	△0 (△424)	△0.0 (△24.8)

(注) 当社の取扱品目は多種多様にわたり、数量表示が困難なため、記載を省略しております。

(2) 受注高及び受注残高

(単位：百万円)

品 目	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)		増 減		
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	増減率	
受 注 高	高性能ソリューションポンプ	3,385	39.7	2,837	34.9	△548	△16.2
	汎用型薬液注入ポンプ	2,214	25.9	2,198	27.0	△16	△0.8
	ケミカル移送ポンプ	576	6.8	649	8.0	73	12.7
	計測機器・装置	964	11.3	1,174	14.4	210	21.8
	流体機器	481	5.6	319	3.9	△162	△33.7
	ケミカルタンク	588	6.9	632	7.8	44	7.5
	その他	324	3.8	320	4.0	△4	△1.5
	合 計 (うち海外)	8,536 (1,782)	100.0 (20.9)	8,132 (1,164)	100.0 (14.3)	△404 (△618)	△4.7 (△34.7)
受 注 残 高	高性能ソリューションポンプ	1,586	52.1	1,208	41.7	△377	△23.8
	汎用型薬液注入ポンプ	322	10.6	258	8.9	△64	△19.9
	ケミカル移送ポンプ	194	6.4	376	13.0	182	93.5
	計測機器・装置	348	11.4	470	16.2	121	35.0
	流体機器	315	10.4	249	8.6	△66	△21.1
	ケミカルタンク	173	5.7	242	8.4	69	40.0
	その他	102	3.4	92	3.2	△9	△9.3
	合 計 (うち海外)	3,042 (785)	100.0 (25.8)	2,898 (451)	100.0 (15.6)	△144 (△333)	△4.7 (△42.5)

(注) 当社の取扱品目は多種多様にわたり、数量表示が困難なため、記載を省略しております。